

後発医薬品の使用状況調査（中間報告）

社団法人 日本薬剤師会

1 目的

本調査は、保険薬局における後発医薬品の使用状況の実態を調査し、得られたデータを解析・考察することによって、後発医薬品への変更調剤等の実施上の課題と対応策を検討することを目的に実施したものである。

2 調査方法

(1) 調査対象

全国の保険薬局から随化無作為抽出（都道府県別）した 2,000 薬局。

(2) 調査方法

- ・アンケート法（自記式：郵送発送・郵送回収）
- ・調査時期：平成 20 年 9 月～10 月

(3) 調査項目

	内 容
様式 1	基本属性 <input type="checkbox"/> 所在地、組織形態、団体加入状況、職員数（薬剤師・その他） <input type="checkbox"/> 調剤基本料、基準調剤加算、後発医薬品調剤体制加算、後発医薬品調剤率
	処方せん受付状況 <input type="checkbox"/> 処方せん発行医療機関数、処方せん枚数 <input type="checkbox"/> 処方せん枚数の最も多い医療機関の処方せん枚数 <input type="checkbox"/> 半径 200m 以内の医療機関数 <input type="checkbox"/> 算定する調剤料に占める浸煎薬、湯薬の状況 <input type="checkbox"/> 取り扱い処方せんの状況 <input type="checkbox"/> 調剤した全ての医薬品のうち後発医薬品の割合（数量ベース）
	後発医薬品への対応状況 <input type="checkbox"/> 後発医薬品について説明を行った患者の割合 <input type="checkbox"/> 後発医薬品を希望しなかった患者の割合・その理由 <input type="checkbox"/> 後発医薬品への変更調剤を継続希望しなかった患者の割合・その理由 <input type="checkbox"/> 患者 1 人当たりの後発医薬品説明及び一般的服薬指導に係る時間 <input type="checkbox"/> 変更調剤後に、後発医薬品の銘柄処方に切り替わった患者の割合 <input type="checkbox"/> 後発医薬品を直に取り揃えることができなかった患者の割合 <input type="checkbox"/> 差薬品の備蓄状況 <input type="checkbox"/> 採用している後発医薬品の選択理由 <input type="checkbox"/> 後発医薬品への変更を進めるための条件
	医療機関との連携状況 <input type="checkbox"/> 変更調剤に係る医療機関（医師）への情報提供の頻度・タイミング <input type="checkbox"/> 変更調剤に係る情報提供を不要と取り決めている医療機関数 <input type="checkbox"/> 採用している後発医薬品リストの医療機関への提供状況
	後発医薬品使用に関する意向 <input type="checkbox"/> 後発医薬品の調剤に関する意向 <input type="checkbox"/> 後発医薬品の品質保証の方法に関する認知状況
様式 2	<input type="checkbox"/> 後発医薬品への変更調剤を行った処方せんについて、記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料、実際に調剤した薬剤料 <input type="checkbox"/> 患者の自己負担割合

3 結果概要

(1) 回収状況

図表 1 回収状況

	発送数	回収数	回収率
様式 1	2,000 薬局	450 薬局	22.5%
様式 2		3,111 枚分（240 薬局）	

注：本報告は、平成 20 年 10 月 20 日までに回答が得られた調査票に基づき集計した。

(2) 調査結果

① 薬局の基本的属性

図表 2 所在地：地域ブロック別

	薬局数	割合
北海道	15	3.3%
東北	48	10.7%
関東	104	23.1%
中部	93	20.7%
近畿	78	17.3%
中国	33	7.3%
四国	12	2.7%
九州・沖縄	65	14.4%
無回答	2	0.4%
合計	450	100.0%

図表 3 組織形態

	薬局数	割合
法人	396	88.0%
個人	53	11.8%
無回答	1	0.2%
合計	450	100.0%

図表 4 1 薬局当たり職員数（常勤換算）

	人数
薬剤師	2.6
その他	2.2
合計	4.8
薬局数	448

図表 5 調剤基本料の請求区分

	薬局数	割合
調剤基本料（40 点）	439	97.6%
調剤基本料の特例（18 点）	7	1.6%
無回答	4	0.9%
合計	450	100.0%

図表 6 後発医薬品調剤体制加算の算定状況

	薬局数	割合
算定している	376	83.6%
算定していない	71	15.8%
無回答	3	0.7%
合計	450	100.0%

図表7 後発医薬品調剤率別にみた薬局数の分布（平成20年9月）

調剤率	薬局数	分布状況
10%未満	8	1.9%
10%以上 20%未満	12	2.9%
20%以上 30%未満	42	10.0%
30%以上 40%未満	133	31.7%
40%以上 50%未満	99	23.6%
50%以上 60%未満	49	11.7%
60%以上 70%未満	47	11.2%
70%以上 80%未満	19	4.5%
80%以上 90%未満	9	2.1%
90%以上	2	0.5%
合計	420	100.0%
平均値 (%)	43.5	
中央値 (%)	41.0	

図表9 取り扱い処方せん状況（平成20年9月1カ月間）

状況	枚数	割合
すべての取り扱い処方せん	553,268	100.0%
（うち）1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	237,284	42.9%
（うち）「変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん	330,600	59.8%
（うち）1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん	18,668	3.4%
（うち）後発医薬品情報提供料を算定した処方せん	3,589	0.6%
（うち）後発医薬品分割調剤加算を算定した処方せん	18	0.0%
（うち）1品目でも後発医薬品の銘柄変更調剤をした処方せん	765	0.1%
（うち）全ての後発医薬品の銘柄が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更しなかった処方せん	37,606	6.8%
（うち）患者が希望しなかったために、全て後発医薬品に変更しなかった処方せん	26,784	4.8%
（うち）以下の理由により、後発医薬品に変更できなかった先発医薬品が1品目でもある処方せん		
先発医薬品の含量規格に対応した後発医薬品がなかったため	24,606	4.4%
採用している後発医薬品に、先発医薬品の含量規格に対応した製剤が薬価収載されていなかったため	9,265	1.7%
先発医薬品の含量規格に対応した後発医薬品を採用していなかったため	15,851	2.9%
先発医薬品の剤形（ただし、OD錠を除く）に対応した後発医薬品がなかったため	7,139	1.3%
採用している後発医薬品に、先発医薬品の剤形に対応した製剤が薬価収載されていなかったため	2,839	0.5%
先発医薬品の剤形に対応した後発医薬品を採用していなかったため	5,166	0.9%
先発医薬品の剤形がOD錠であり、それに対応した後発医薬品がなかったため	2,236	0.4%
採用している後発医薬品に、OD錠が薬価収載されていなかったため	929	0.2%
OD錠の後発医薬品を採用していなかったため	1,266	0.2%
（うち）「変更不可」欄に処方医の署名等がある処方せん	193,812	35.0%
（うち）後発医薬品を銘柄指定している処方せん	63,431	11.5%
（うち）処方せん内容の一部について変更不可としている処方せん	13,571	2.5%
（うち）一部先発医薬品について変更不可としている処方せん	12,843	2.3%
（うち）一部後発医薬品について変更不可としている処方せん	432	0.1%
総 数	406	

注1. 各項目全てに回答のあった406施設を対象にして集計している。
 注2. 表中の「割合」欄の数値は全て、「すべての取り扱い処方せん」に対する割合である。

図表10 平成20年9月1カ月間の取り扱い処方せんのうち、「変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局数の割合（薬局数ベース）

状況	薬局数	割合
変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんの取り扱いが1枚以上ある薬局	400	98.5%
取り扱いのない薬局	6	1.5%
合計	406	100.0%

図表11 「変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局のうち、実際に後発医薬品に変更した薬局数の割合（薬局数ベース）

状況	薬局数	割合
1品目でも先発医薬品を後発医薬品に実際に変更した薬局数	310	77.5%
変更しなかった薬局	90	22.5%
合計	400	100.0%

② 処方せんの受付状況

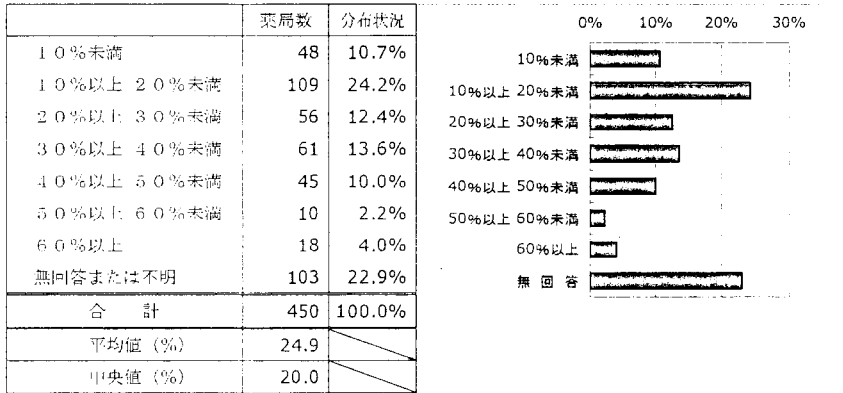
図表8 平成20年9月1カ月間に1薬局が受け付けた処方せんの処方せん発行医療機関数・処方せん枚数

	医療機関種別									合計
	病院	一般診療所							歯科診療所	
		内科	小児科	外科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他		
処方せん発行医療機関数（施設）（A）	10.5	9.5	0.8	1.5	2.0	1.2	1.4	3.3	1.5	31.7
（うち）「変更不可」欄に処方医の署名等がない医療機関数（施設）（B）	2.8	2.5	0.2	0.4	0.6	0.4	0.4	0.9	0.2	8.5
（うち）主として先発医薬品を銘柄指定している機関数（施設）	1.6	1.5	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.6	0.1	5.0
（うち）主として後発医薬品を銘柄指定している機関数（施設）	0.6	0.5	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	1.8
処方せん枚数（枚）	329.8	497.4	71.9	78.8	91.3	82.9	34.8	158.1	11.6	1,356.6
「変更不可」欄に処方医の署名等がない医療機関数の割合（B/A）（%）	27.0	26.1	30.8	26.9	30.2	30.9	29.8	28.7	13.5	26.8
薬局数	331									

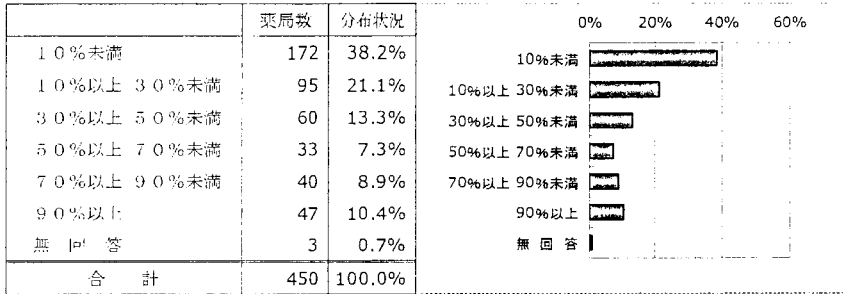
注. 各項目全てに回答のあった331施設を対象にして集計している。

③ 後発医薬品への対応状況

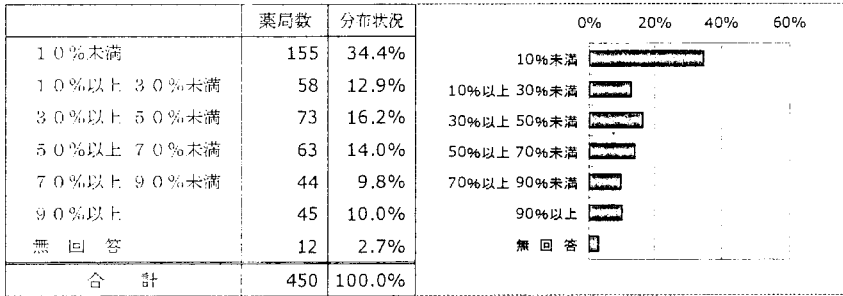
図表 12 平成20年9月1か月間に調剤した全ての医薬品の数量(薬価基準の規格単位ベース)のうち、後発医薬品の割合別にみた薬局数の分布



図表 13 平成20年4月以降に後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品についての説明を行った患者の割合別にみた薬局数の分布



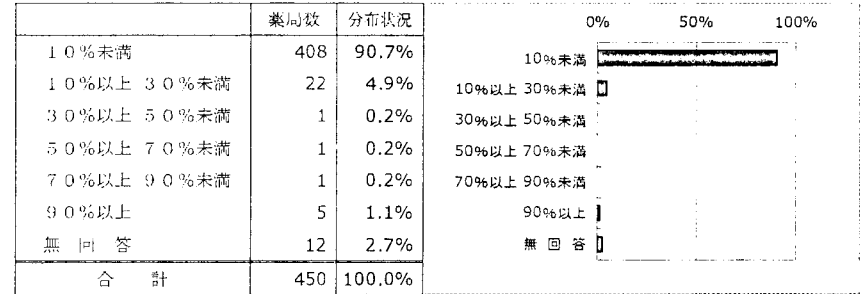
図表 14 平成20年4月以降に後発医薬品についての説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合別にみた薬局数の分布



図表 15 後発医薬品についての説明を行ったにもかかわらず、患者が後発医薬品の使用を希望しなかった理由のうち最も多いもの

理由	薬局数	割合
薬剤料等(患者自己負担額)の差額が小さい	178	39.6%
後発医薬品に対する不安がある	160	35.6%
公費負担の患者であるため、経済的インセンティブがない	31	6.9%
過去に後発医薬品を使用したけど、合わなかった	9	2.0%
その他	57	12.7%
無回答	15	3.3%
合計	450	100.0%

図表 16 平成20年4月以降に後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合別にみた薬局数の分布

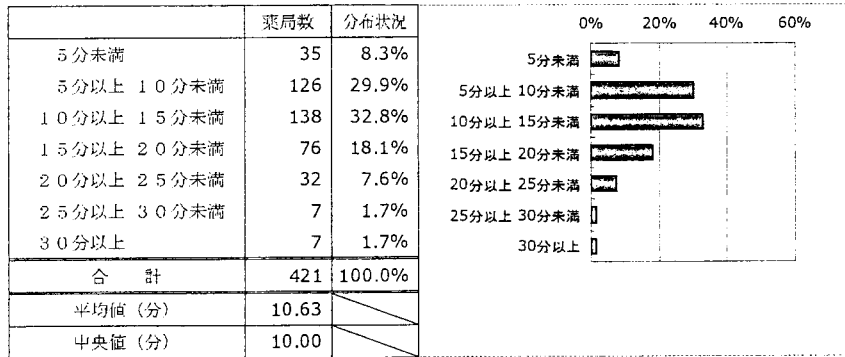


図表 17 後発医薬品への変更調剤を行ったにもかかわらず、患者が2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった理由のうち最も多いもの

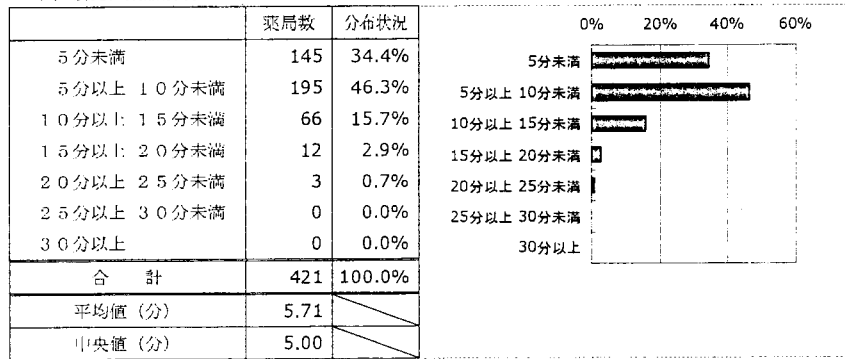
理由	薬局数	割合
使用した後発医薬品の使用感が合わなかったため	169	37.6%
使用した後発医薬品の効果に疑問があったため	86	19.1%
後発医薬品に対する漠然とした不安が消えなかったため	52	11.6%
使用した後発医薬品の安全性に不安があったため	15	3.3%
その他	79	17.6%
無回答	49	10.9%
合計	450	100.0%

図表 18 患者 1 人に要する平均説明時間別にみた薬局数の分布

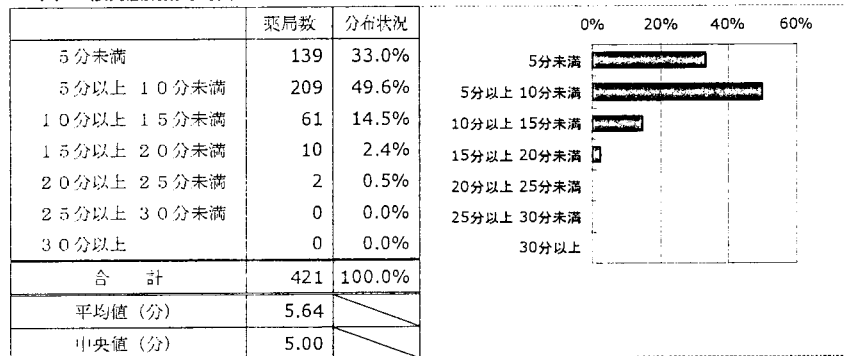
(1) 後発医薬品説明＋一般的服薬指導時間【初回】



(2) 後発医薬品説明＋一般的服薬指導時間【2回目以降】

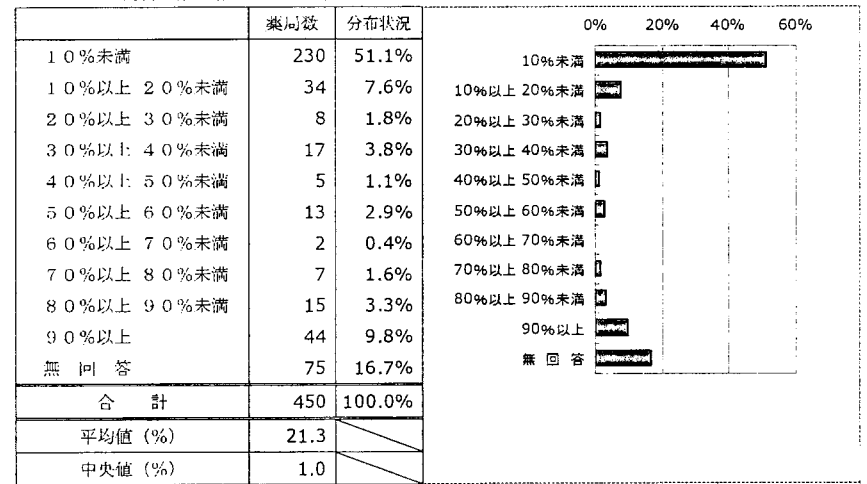


(3) 一般的服薬指導時間

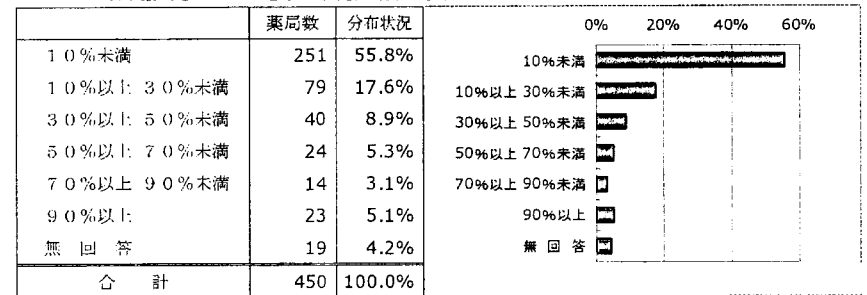


注：(1)～(3)の全てに回答のあった121施設を対象にして集計している。

図表 19 平成20年9月以前に薬局が後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、医療機関が、薬局で変更した当該後発医薬品の銘柄処方に切り替えた患者数の割合(割合別にみた薬局数の分布)



図表 20 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、当該後発医薬品を直ちに取替えることができずに後発医薬品に変更しなかった患者の割合別にみた薬局数の分布



図表 21 後発医薬品の備蓄品目数別にみた薬局数の分布（平成19年9月・平成20年9月）

	薬局数		分布状況	
	H19.9	H20.9	H19.9	H20.9
0品目	0	0	0.0%	0.0%
1品目以上 50品目未満	103	50	31.5%	15.3%
50品目以上 100品目未満	114	118	34.9%	36.1%
100品目以上 200品目未満	79	97	24.2%	29.7%
200品目以上 300品目未満	22	43	6.7%	13.1%
300品目以上	9	19	2.8%	5.8%
合計	327	327	100.0%	100.0%
平均値（品目）	90.0	123.2		
中央値（品目）	70.0	98.0		

注：全ての項目に回答のあった薬局を対象にして集計している

図表 22 複数銘柄の後発医薬品を揃えている先発医薬品の品目数別にみた薬局数の分布（平成20年9月）

	薬局数	分布状況
0品目	46	14.1%
1品目以上 5品目未満	115	35.2%
5品目以上 10品目未満	65	19.9%
10品目以上 20品目未満	60	18.3%
20品目以上 30品目未満	20	6.1%
30品目以上 50品目未満	10	3.1%
50品目以上	11	3.4%
合計	327	100.0%
平均値（品目）	9.3	
中央値（品目）	5.0	

図表 23 在庫がなく後発医薬品に変更できないケースをないようにするために必要な後発医薬品の備蓄品目数別にみた薬局数の分布（平成20年9月）

	薬局数	分布状況
0品目	2	0.6%
1品目以上 50品目未満	24	7.3%
50品目以上 100品目未満	21	6.4%
100品目以上 200品目未満	79	24.2%
200品目以上 300品目未満	54	16.5%
300品目以上 400品目未満	35	10.7%
400品目以上 500品目未満	11	3.4%
500品目以上	38	11.6%
無回答	63	19.3%
合計	327	100.0%
平均値（品目）	260.6	
中央値（品目）	200.0	

図表 24 採用している後発医薬品の選択理由（複数回答）

	薬局数	割合
迅速かつ安定的に製造販売業者や卸業者から入手できる	369	82.0%
後発医薬品メーカーによる品質に関する情報開示の程度	286	63.6%
近隣の保険医療機関・保険薬局への納入実績の程度	181	40.2%
患者の使用感がよい（例、味がよい、臭いが気にならない、貼付感がよい）	102	22.7%
他の後発医薬品よりも薬価が安価	75	16.7%
調剤がしやすい（例、容易に半割できる、一包化調剤がしやすい）	36	8.0%
その他	44	9.8%
無回答	5	1.1%
合計	450	

図表 25 後発医薬品への変更が可能な処方せんを受け付けたが、変更しなかった場合について、薬局の立場として後発医薬品への変更を進めるための条件

	薬局数	割合
後発医薬品メーカーによる情報提供や安定供給体制の確保	118	26.2%
医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底	113	25.1%
剤形・規格の違いに関わらずに銘柄変更調剤ができる環境の整備	94	20.9%
後発医薬品に対する患者の理解	87	19.3%
特に対応は必要ない	12	2.7%
その他	18	4.0%
無回答	8	1.8%
合計	450	100.0%

④ 医療機関との連携状況

図表 26 採用している後発医薬品リストの近隣医療機関への提供状況

	薬局数	割合
提供していない	349	77.6%
提供している	97	21.6%
提供方法		
自局単独で提供している	67	14.9%
複数の薬局で共同して提供している	4	0.9%
地域の薬剤師会として提供している	22	4.9%
その他	3	0.7%
無回答	1	0.2%
無回答	4	0.9%
合計	450	100.0%

⑤ 後発医薬品の使用に関する意向

図表 27 後発医薬品の使用に関する考え

	薬局数	割合
特にこだわりはない	94	20.9%
後発医薬品を積極的に患者に説明して、調剤するように取り組んでいる	56	12.4%
薬効によっては後発医薬品を患者に説明して、調剤するように取り組んでいる	140	31.1%
後発医薬品の説明・調剤にはあまり積極的には取り組んでいない	156	34.7%
無回答	4	0.9%
合計	450	100.0%

→ 図表 28 後発医薬品の説明・調剤にはあまり積極的には取り組んでいない理由（複数回答）

	薬局数	割合
近隣の医療機関が後発医薬品の使用に消極的なため	65	41.7%
後発医薬品の品質に疑問があるため	59	37.8%
後発医薬品の効果に疑問があるため	53	34.0%
後発医薬品の安定供給体制が不備であるため	52	33.3%
後発医薬品の情報提供が不備であるため	44	28.2%
後発医薬品の副作用に不安があるため	39	25.0%
薬局にとって経済的な便益がないため	32	20.5%
後発医薬品に関する患者への普及啓発が不足なため	23	14.7%
その他	28	17.9%
無回答	1	0.6%
薬局数	156	100.0%

図表 29 後発医薬品の品質保証の方法についての理解状況

	薬局数	割合
十分に理解している	36	8.0%
ある程度理解している	298	66.2%
あまり理解していない	106	23.6%
全く理解していない	5	1.1%
無回答	5	1.1%
合計	450	100.0%

⑥ 後発医薬品に変更して調剤した処方せんに係る薬剤料の状況

図表 30 平成20年9月8日から14日に後発医薬品に変更して調剤された処方せんの状況

	薬局数	処方せん枚数	平均値	中央値
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料（A）（点）			855.1	454
実際に調剤した薬剤料（B）（点）	240	3,111	659.4	315
記載銘柄により調剤した場合に占める、実際に調剤した薬剤料の割合（B/A）			77.1%	69.4%

注：各項目全てに回答のあった処方せん3,111枚（240施設）を対象にして集計している。

図表 31 患者一部負担割合別にみた、平成20年9月8日から14日に後発医薬品に変更して調剤された処方せんの状況（平均値）

	患者一部負担金割合				
	全休	0割	1割	2割	3割
処方せん枚数（枚）	3,111	140	898	54	1,982
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料（A）（点）	855.1	477.8	993.7	555.1	832.3
実際に調剤した薬剤料（B）（点）	659.4	389.0	785.8	450.5	631.1
記載銘柄により調剤した場合に占める、実際に調剤した薬剤料の割合（B/A）	77.1%	81.4%	79.1%	81.2%	75.8%

注：患者一部負担金割合の「全休」には、患者一部負担金割合が不明だった処方せん37枚も含まれる。